

# 研究構想図

【学校教育目標】

## 笑顔でチャレンジ

～仲間と協力し 努力を楽しむ子の育成～

【目指す子ども像】

あいさつがしっかりできる子 わかるまで学び続ける子 やさしい行動ができる子

【育成したい資質・能力】

**表現力** (目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して表現する力)

**主体性** (自分で決めて、考えて行動することを自ら繰り返せる力)

**協働性** (他者の気持ちを想像し、自分の気持ちと折り合いをつけることができる力)

【研究主題】

### 「わかった」「できた」喜びを感じる授業の創造

～逆向きの設計論の活用を通して～

かかわり合うことで考えを深め、豊かに表現することができる児童

「数学的な見方・考え方」の  
育成につながる見通しや振り返りの  
工夫

ノート指導の充実

- 具体的なめあての設定 ○数学的表現の関連付け
- 振り返りの充実 (明確な振り返りの視点の提示、肯定的評価、全体共有)
- 学びの楽しさを支える肯定的評価 (非認知能力の育成) ○板書の工夫
- 見通しの明確化 (算数用語の提示) ○多様な考えの練り上げ
- 適用題・類題を解く時間の確保 (家庭学習とのつながり) ○座席の工夫
- 発問の工夫 ○かかわり合いの時間の確保 ○系統的なリーダーカード
- ノート指導 (図、自分の考え、既習事項の活用)

## 基礎基本的な事項の定着 (知悉語彙数の増加)